

【ワークショップ進行表】

日時	平成17年8月7日（日）9：00～12：30
場所	豊城地区市民館
内容	まちなかウォッチング・地域点検マップづくり 地域の防災力を向上させるには、まずは住民の方々が自分の住むまちの危険性や安全性を十分に理解することが必要です。今回のワークショップは、その第一歩として、皆さんがお住まいの地域でまちなかウォッチングを行い、「災害時に注意すべきところ」や「災害時に役に立つもの」などを点検していきます。そしてみんなで楽しく「地域点検マップ」を作成します。

時刻	内容
8：30	受付開始 本日の作業を行うグループをご確認ください。
9：00 (30分)	本日の作業の確認 まず、ワークショップの概要を説明します。その後、6つのグループに分かれ、まちなかウォッチングの項目や方法を確認します。
9：30 (60分)	まちなかウォッチング 6つのグループに分かれてまちなかウォッチングを行い、「災害時に危険だと思うもの」や「災害時に役に立つもの」などを点検していきます。ウォッチングの終了後、豊城地区市民館に戻ってきます。
10：30	休憩 冷たいお飲み物や、お菓子を用意しています。
10：40 (110分)	地域点検マップづくり まちなかウォッチングの結果を基に、パソコンを使って地域点検マップを作成します。地域点検マップを作成しながら、皆さんのまちの課題について話し合しましょう。終了後、皆さんで作成した地域点検マップ（暫定版）を配布する予定にしております。受付で配布するアンケートにもご協力ください。
12：30	解散 ワークショップの終了後、耐震診断ソフトや延焼シミュレーションソフト、避難シミュレーションソフトのデモを行いますので、お時間のある方やご興味のある方はぜひご参加ください。

※まちなかウォッチングの際は、熱中症や交通事故には十分ご注意ください。

【作業グループの構成】



【まちなかウォッチングの項目】

●災害時に注意すべきところ

- 道路閉塞注意（狭い道路？、沿道に道路をふさぎそうなものはない？）
- ブロック塀倒壊注意（ブロック塀が老朽化していない？）
- その他注意（看板等の落下物はない？、避難時に障害となるものはない？）

●災害時に役立つもの

- 掲示板
- 消火器（使用期限は？、容器は腐食していない？、すぐに利用できる状態？）
- 消火栓（周りに消火栓をふさぎそうなものはない？）
- 防火水槽（すぐに利用できる状態？、消火用バケツの数は？）
- アクセス可能な河川敷・消火用水として利用できる水路
- 井戸（電動式・手動式？）
- 駐車場などのオープンスペース
- 防災資機材倉庫（すぐに開けられる状態？、鍵は誰がもっている？）
- 防災用スピーカー
- 災害時に援護を必要とする方
- 食料品・飲料水・日用品を常時おいているお店
- 災害時に有効な資機材（別紙資料）

※その他お気づきのところがあればメモをお取り下さい。

別紙資料

【災害時に有効な資機材の例】

アイコン	内容	アイコン	内容
	ポンプ		土嚢
	バケツ		無線機
	ホース		発電機
	ロープ		投光機
	はしご		ボート
	ブルーシート		リヤカー
	担架		車椅子
	テント		クレーン
	ジャッキ		ダンプカー
	ハンマー		ブルドーザー
	チェーンソー		ショベルカー
	ドリル		その他

【ワークショップの実施】

○実施日時：2005 年 8 月 7 日（日） 9 時～12 時 30 分

○実施場所：豊城地区市民館（飽海町，東田町西脇二区）

○参加者数：飽海町 11 名，東田町西脇二区 12 名，計 23 名

※スタッフとして，工学院大学，豊橋市都市計画課・防災対策課，豊橋技術科学大学，消防研究所，東京大学竹内研が参加。

【まちなかウォッチング】

各グループ内のまち歩き（60 分程度）

※スタッフが 2 名同行

○地域点検結果を紙地図に記入

○地域点検項目をデジタルカメラで撮影



まちなかウォッチングの様子



地域点検項目を撮影した写真の例

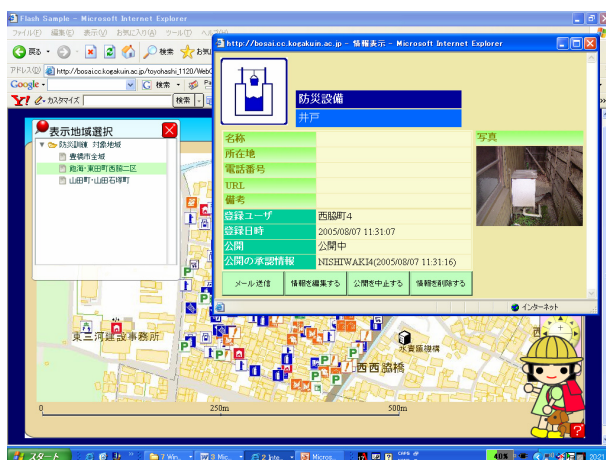
【WebGIS を活用した地域点検マップづくり】

WebGIS の利活用による効果

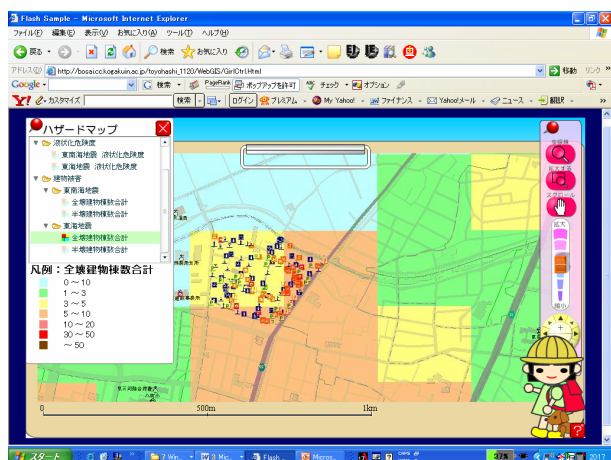
- ワークショップの現場で地域点検マップを効率良く作成・提供
- 地域点検マップの作成と同時に地域点検情報（文字情報と画像情報）をデータベース化
- インターネット環境を利用して、地域点検情報をいつでもどこでも容易に閲覧・更新・検索が可能になるとともに、必要に応じて地域点検マップを自宅等にあるプリンタで印刷することも可能（ユーザー制限あり）
- 詳細な地域点検情報と国・自治体が作成したハザード情報等をあわせて活用することで、避難所までの安全な避難ルートの検討など、意識啓発だけでなく、住民の防災活動にも活用可能



効率良い地域点検マップの作成・提供



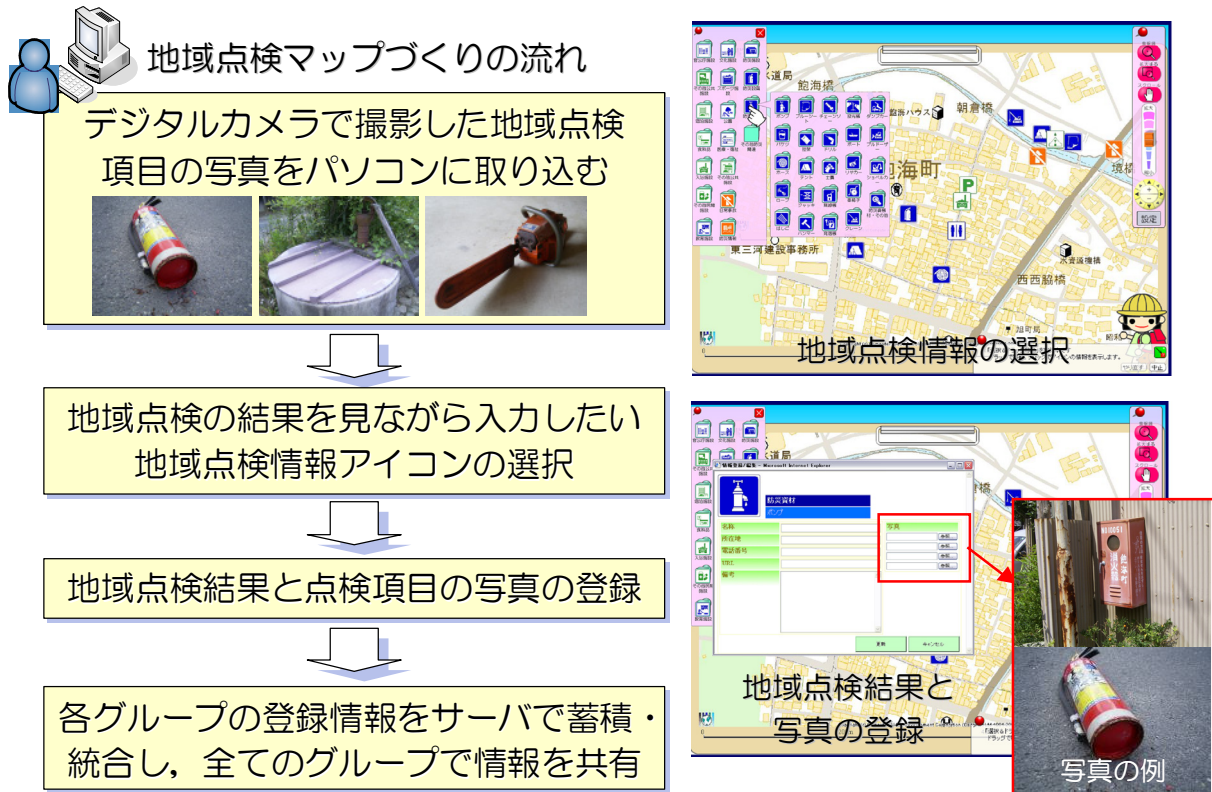
地域情報のデータベース化



各種ハザード情報との重ね合わせ

【WebGIS を活用した地域点検マップづくり】

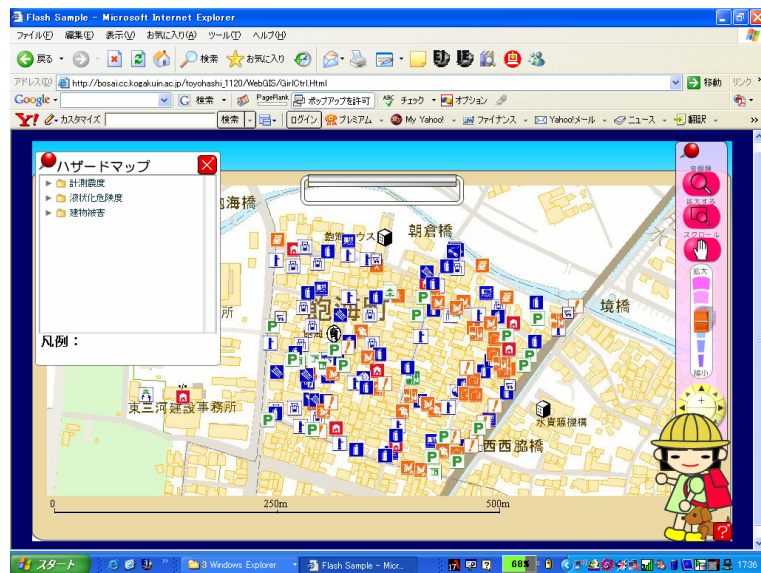
- スタッフが操作方法の説明した後、住民主体で作成
- 1 時間 30 分程度で地域全体の地域点検マップが完成
- 完成したマップはその場で印刷し参加者へ配布（資料 1）



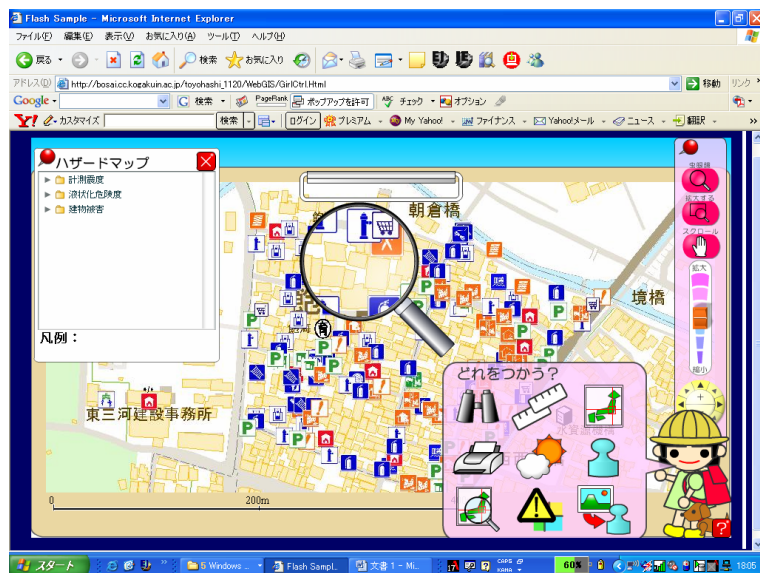
地域点検マップの作成の流れ



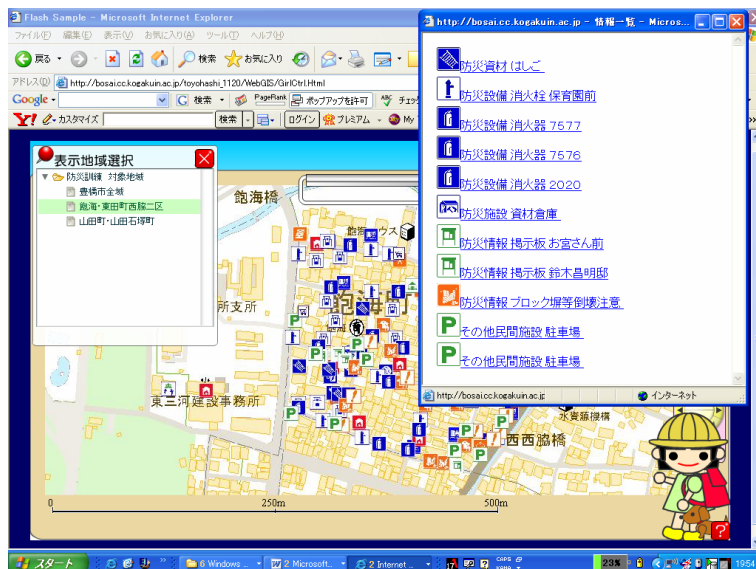
地域点検マップの作成の様子



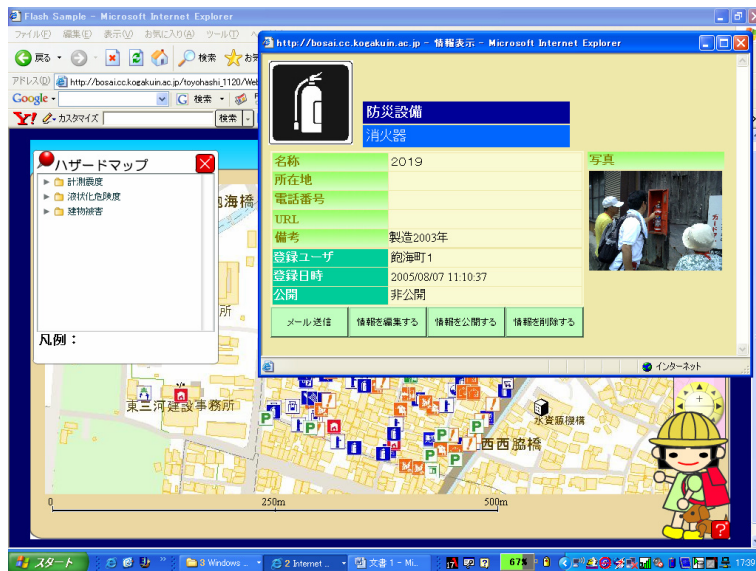
住民が作成した地域点検マップの表示例



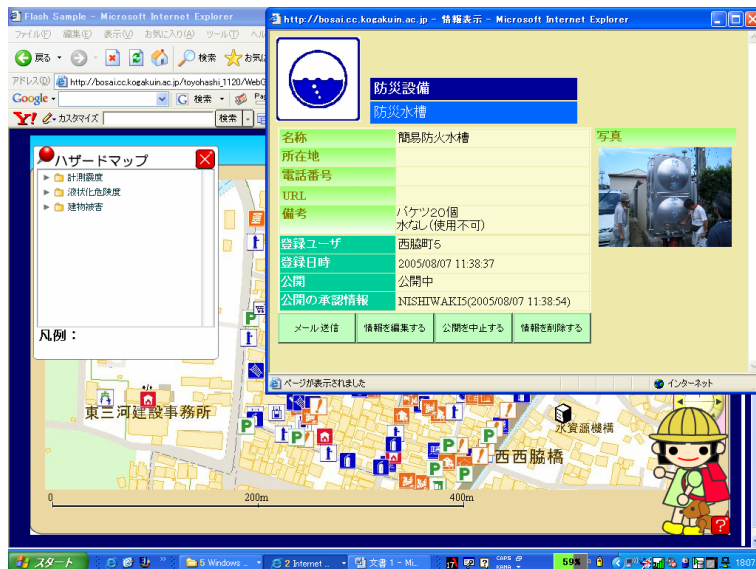
住民が作成した地域点検マップの表示例（虫眼鏡機能）



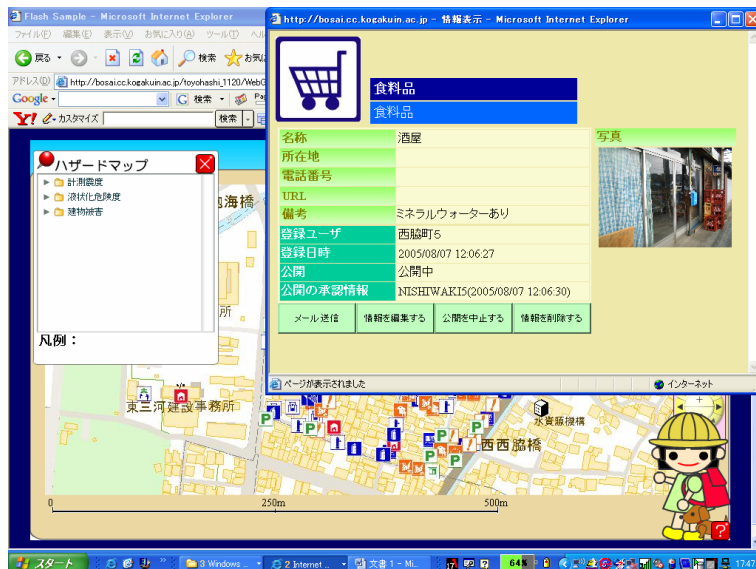
地域点検情報の選択例



地域点検情報の閲覧例（消火器）



地域点検情報の閲覧例（簡易貯水槽）

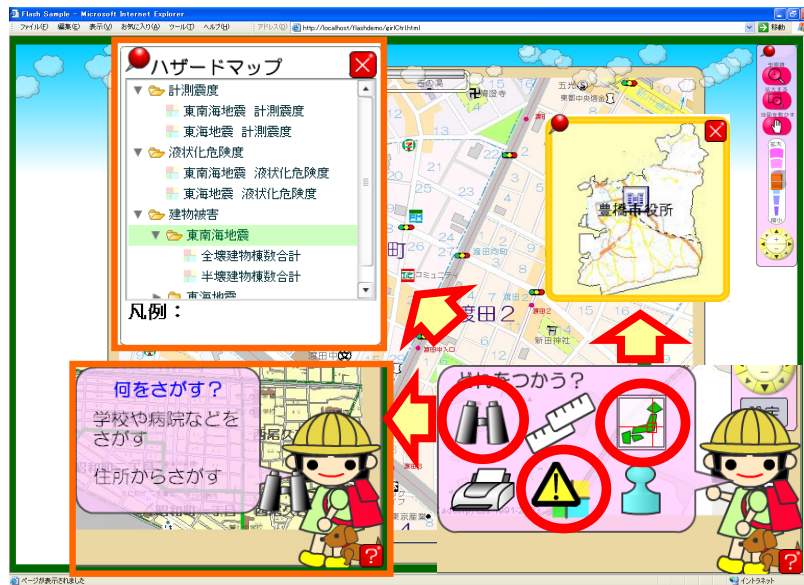


地域点検情報の閲覧例（食料品店）

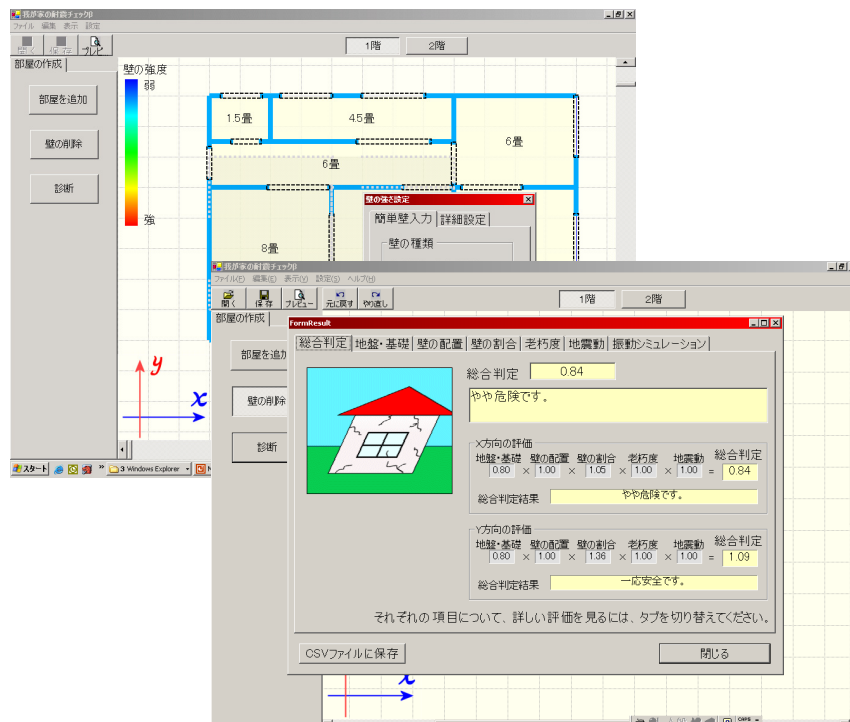
【その他（地域防災情報の提供・耐震診断など）】

○地域防災情報（東海・東南海地震の被害想定結果など）の提供

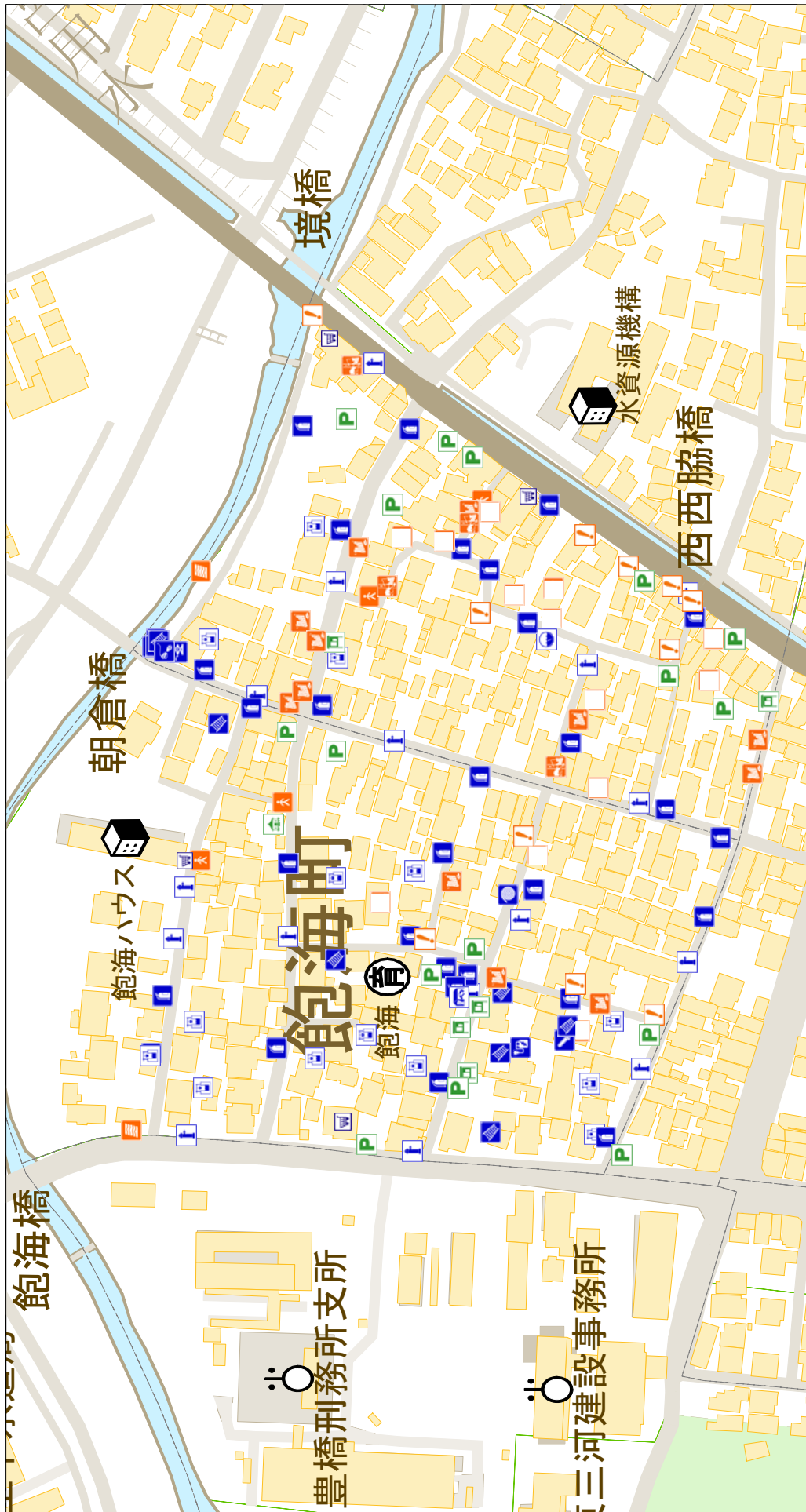
○工学院大学が開発している耐震診断ソフトや、東京大学関澤研究室が開発している延焼シミュレーションシステム、安全・安心マイプランが開発している避難シミュレーションシステムのデモ



地域防災情報の提供



耐震診断ソフト



防災マップ 2005.08.07

飽海町・東田町西脇二区地域点検マップ

2005年8月7日作成

